



## ドッジディスタンス 測定キットの使い方

### 【準備】

- ① スローイング・スタッフは
  - ・スローラインのフェール
  - ・60秒以内に3投
  - ・スローライン（横幅）内からのスローを確認チェックします。



- ② マーキング・スタッフは測定キットの
  - ・マーカー
  - ・受光板を持ちます。



### 【マーク&セット】

- ③ スローが落下した地点にすばやく、正確にマーカーを落下した通りに置きます。



3投中、もっとも遠くにマークされたマーカーに受光板をセットします。  
(セットの仕方は次を参照)

もっとも遠く、の判断が付かない場合複数計測します。



#### ④ 受光板のセット

マーカーをスローラインに向けて、センターマークを受光板で隠すようにセンターを決めます。

両サイドはマーカーのふちにセット、

1=センター

2=右サイド

3=左サイド の3点をセットする

ことにより、おのずとマーカーの

センターに受光板がセットされます。



#### 【計測】

#### ⑤ スローイング・スタッフは

レーザー測距器を

スローラインの

左右センター、

かつ、ラインの後ろ、

に、測距器の基準をセットします。

DBJA 公認測距器は測定基準を機器の  
前部／後部で設定変更ができます。



#### ⑥ 測距器のボタンを押して

レーザーを照射して、受光板の

受光窓内にレーザーを当てます。

再度、ボタンを押して数値を計測。

記録員へ数値を申告します。



↑ OK例

← NG例 レーザーが受光窓に当たっていない。